

公表

児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドウィッシュ三崎		公表日		2026年1月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・とても広く、使い勝手の良い施設である。	・備え付けの長机と自由に動かせる椅子をさらに有効に使っていきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		・表示と併せて、使ったペーパータオルの処理の仕方等について繰り返し子どもに伝えていく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・遊具などを毎日消毒している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	・玄関横のスペースを整理し、スペースを確保できたことは良い。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	3	・話し合いの時間は少ないが、日常の会話などで話題にしている。	・こどもの支援についてまとめてじっくりと話し合う時間を確保したい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		・個々の支援の方策について、会議棟でさらに多様に話し合いたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2		・行政等に呼びかけられる研修を軸に、共有できる機会を増やしていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		・人員の入れ替わりがあったので、共有をしていく必要がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2		・共有する時間を確保し、何を目標に行っているかを理解しあいたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	7		・こうした点について、さらに研究を進めていく必要がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	5		・家庭との共有や地域との連携が手薄。 ・地域支援、地域連携が現状ではなかなか難しい。施設の交流会や作品展などを通して、地域とのつながりを少しずつ作っていく必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・人員の入れ替わりに伴い、時間はかかったが、これまで以上に充実してきている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	・指導員の話し合いのもと、常にかぶらないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		・17時からの集団活動の時間と早帰りの時間との兼ね合いを調整したい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・活動について、ようやく分担ができてきた。 ・活動の記録は残している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・必ずではないがライン等で共有している。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4	・次年度の特別支援学校への就学について、保護者との話し合いがあった。	・こうした事例が発生するごとに、どのように連携することが可能か検討していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2	・豊明市や支援センター等からの「ヒアリング」の機会はとても有意義であった。 ・ひまわり作品展に伴う、交流・連絡調整はとてもよかった。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・活動記録や写真の送付などは、とても効果的である。	・返信をしてくださる家庭をもっと増やしていく必要がある。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	2		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・定期的とは言えないが、随時行い、その頻度も高い。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	・保護者会、父母の会等は行っていないが個別に対応している。	・今後ご家庭とも意見交換しながら、どのような形が望ましいかを検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1		・学校休業日の活動、お出かけ先についてはもっと早く連絡したい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・HUGシステム等において把握している。 毎日の画面に表示されている。	・該当者が少ないが、今後家庭を通して現状を把握更新していく必要がある。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	チャイルドウィッシュ三崎					公表日	2026年1月10日				
					利用児童数	3人		回収数	3		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3				・広いスペースが効果的である。 ・長い机で自由に使える。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	1							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1			・子どもたち同士で、教え合って使い方を学んでいっている。	・生活空間と支援内容について結び付けてお話しする機会を増やしています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3				・エアコンが新しくなり、特に暖房がよく聞くようになった。				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3				・子どもたちの様子を逐一伝えていただきとても感謝している。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3				・いつも子供のことを考えて対応してくれている。	・ご家庭からの情報を多く寄せていただくことで、事業所での支援にも役立っています。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1							
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	1							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3				・毎日毎日、よくいろいろな工夫をできるものだと感じている。				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				3		・ご家庭との意見交換を積み上げていく中で、具体的に一緒に考えていきます。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3								
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				3	・訓練はないが、どのような悩みにも対応していただいている。	・従来通り、多様な意見交換・情報発信を個別に行い、個別に家族支援を進めていきます。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3				・情報共有はとても密であると思う。	・毎日情報提供を必ず行うことはもちろん、家庭からの返信の量がさらに増えていくことをめざします。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1			・毎日思い立った時に、相談に乗ってもらえるようになっている。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3				・子どもたちの口から、毎回「とても楽しかった」と感想が出る。				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			3			・「保護者同士の交流」については、各ご家庭の事情をお伺いながら、少しずつ形にしていきたいと思っています。			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2			1		・こどもからの相談については、従来通り進めていきます。ご家庭からの相談を受けることも多くありますので、その対応が可能であることを周知します。				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				・送迎時の会話やHUGUの報告、たくさんさんの写真提供はありがたい。 ・ラインや電話での相談も頻繁に行えている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2			1	・送迎時の会話やHUGUの報告、たくさんさんの写真提供はありがたい。 ・ラインや電話での相談も頻繁に行えている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			1		・すべての曜日において、利用児童生徒に実効的な訓練を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			1		・「わからない」とされるご家庭がなくなるよう、支援を積み上げていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2			1		「わからない」とされるご家庭がなくなるよう、支援を積み上げていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				・いつも信頼しています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3				・とても楽しく通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				・ここがないと今の生活はできてない。	